

# 標準施工仕様書

PREMA EDITION

製品名	ピュアコートプレマエディション【カラー工法】
種別	●ピュアインナーカラー：ピュアコート専用中塗りカラーコート ●ピュアコート水性プレマエディション：4 フッ化エチレン系光触媒塗料 常温硬化形
荷姿	●ピュアインナーカラー： 12 kg/缶 ●ピュアコート水性プレマエディション： 8 kg/缶
用途	外壁
適用基材	一般外壁、各種旧塗膜、各種サイディング板、RC、モルタル、ALC板、PC板、トタン、鋼板、スレート等

工程	材料	調合	所要量/m <sup>2</sup> /回 (塗布面積/缶/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。③洗浄後、降雨後は、均一に乾いてから施工してください。④塗装面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。					
下塗り	下地に応じた下塗材を施工してください。					
中塗り	ピュアインナーカラー 清水	12 kg 2~8%	0.12~0.16 kg (75~100 m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー	2	4 時間以上 ※最終養生 16 時間
上塗り	ピュアコート水性 PE 既調合	8 kg	0.035~0.045kg (177~228 m <sup>2</sup> )	エアコートガン エアレス※	2	0.5 時間 ~7 日

※塗装機の仕様は別途施工マニュアルをご確認下さい

## 注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品 6ヶ月、油性製品は 12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。また、ピュアコート水性PEはご購入から3ヶ月以内、開封から14日以内にご使用ください。
- ピュアコート水性PEの施工に関しては、必ず施工マニュアルをご確認ください。
- ピュアコート水性PEはローラー施工ができません。事前に所定の口径チップを準備し、必ず吹付で塗装してください。吹付の仕様に関しては、施工マニュアルを参照ください。
- ピュアインナーカラーは3分艶程度ですが、ピュアコート水性PE施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。
- ピュアコート水性PEは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工マニュアルと異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。
- ピュアインナーカラーは淡彩～中彩までになります。
- ピュアコート水性PEは十分に攪拌してご使用ください。施工中も30分～60分に1回程度攪拌して塗布してください。
- 光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。
  - 建物の構造上汚れがたまりやすい箇所 ●内部からの水まわりに起因するもの ●無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ ●釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆 ●シーリングに起因する汚れ
- 環境によっては、藻やカビが発生する場合があります。
- 吹付での施工は飛散により周囲を汚しトラブルの原因となることがあります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- 中塗りの乾燥が不十分（硬化不良）の状態でピュアコート水性PEを施工すると白濁の恐れがあります。
- シーリングは後打ちを推奨いたしますが、シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染・密着不良・又は塗膜に割れが発生する所以有りますので塗り重ね適合性を十分確認の上、施工してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 施工環境が気温40°C以上、5°C以下の場合・湿度80%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項を守ってください。詳細な内容は安全データシート（SDS）をご確認ください。

# 標準施工仕様書

PREMA EDITION

製品名	ピュアコートプレマエディション【クリヤー工法】
種別	●ピュアプライマー /ピュアコート専用クリヤープライマー ●ピュアインナーUVクリヤー /ピュアコート専用中塗りクリヤーコート ●ピュアコート水性プレマエディション /4フッ化エチレン系光触媒塗料 常温硬化型
荷姿	●ピュアプライマー 15kg/セット ●ピュアインナーUVクリヤー 12kg/缶 ●ピュアコート水性プレマエディション 8kg/缶
用途	外壁
適用基材	意匠サイディング全般、無機系・光触媒サイディング（淡彩、中彩程度）

工程	材料	調合	所要量/m <sup>2</sup> /回 (塗布面積/缶/回)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
事前診断	新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸込みや付着性を確認してください。						
素地調整	①素地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は高圧洗浄等で取り除いてください。②軽微なチョーキングや汚れはワイヤブラシ等でケレン後、高圧洗浄で除去して、均一な状態にしてください。③チョーキングが多い面には施工出来ません。④下地の表面に微細なひび割れが生じている場合は、本仕様による施工は避け、他の工法を選択してください。⑤雨上がり後は、均一に乾いてから施工してください。⑥シーリング面に塗装する場合は変色・汚染等が生じることがありますので、シーリング材は後打ちを基本としてください。シーリング材を新規に打設しない場合は、シーリング材面を養生してください。⑦吹付面周辺は、汚れや損害を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	ピュアプライマー 主剤 硬化剤 清水	14kg 1kg 0~6%	0.10~0.15 kg (100~150 m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー	1	4時間以上 7日以内	6時間以内
中塗り	ピュアインナーUV クリヤー <sup>※</sup> 清水	12 kg 0~4%	0.1~0.12 kg (100~120 m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー	2	16時間以上 (工程内4時間以上)	—
上塗り	ピュアコート水性 PE 既調合	8 kg	0.035~0.045kg (177~228 m <sup>2</sup> )	エアコートガン エアレス※	2	0.5時間 ~7日	—

\*塗装機の仕様は別途施工マニュアルをご確認下さい

## 注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態で水性製品6ヶ月、油性製品は12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。また、ピュアコート水性PEはご購入から3ヶ月以内、開封から14日以内にご使用ください。
- ピュアプライマーは必ず電動攪拌機を使用して攪拌し、攪拌後は30分程度静置させてから施工してください。
- ピュアコート水性PEの施工に関しては、必ず施工マニュアルをご確認ください。
- ピュアコート水性PEはローラー施工ができません。事前に所定の口径チップを準備し、必ず吹付で塗装してください。吹付の仕様に関しては、施工マニュアルを参照ください。
- ピュアインナーUVクリヤーは3分艶程度ですが、ピュアコート水性PE施工後はさらに落ち着いた艶に仕上がります。基材や施工方法によって艶の見え方が異なる場合があります。塗り継ぎや足場つなぎでの艶ムラにご注意ください。
- ピュアコート水性PEは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工要領書と異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。
- 濃色基材に使用した場合、白度が上がりムラの要因となる恐れがあります。やむを得ず使用する場合は、必ず試験施工を実施し、仕上がりをご確認ください。
- ピュアコート水性PEは十分に攪拌してご使用ください。施工中も30分～60分に1回程度攪拌して塗布してください。
- ピュアコートPEは光触媒機能により優れた防汚効果を発揮しますが、施工マニュアルと異なる施工をした場合は十分な効果を得られない可能性があります。
- 光触媒効果は紫外線の当たらない箇所、雨水のかからない箇所では効果を十分に発揮できません。光触媒は表面を親水性にして親油性の汚れに対し効果を発揮します。親水性の汚れには効果はありません。また、以下の条件でも効果を十分に発揮しませんのでご注意ください。
  - 建物の構造上汚れがたまりやすい箇所
  - 内部からの水まわりに起因するもの
  - 無機系汚れや小動物の糞、樹液など局所的な汚れ
  - 釘部、金属製の化粧部材から生ずる錆やもらい錆
  - シーリングに起因する汚れ
- 環境によっては、藻やカビが発生する場合があります。
- 中塗りの乾燥が不十分（硬化不良）の状態でピュアコートPEを施工すると白濁の恐れがあります。
- 素焼きタイルのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。
- 施工環境が気温5°C以下の場合・湿度85%RH以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合は避けてください。
- ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。